

サマースクール 2024

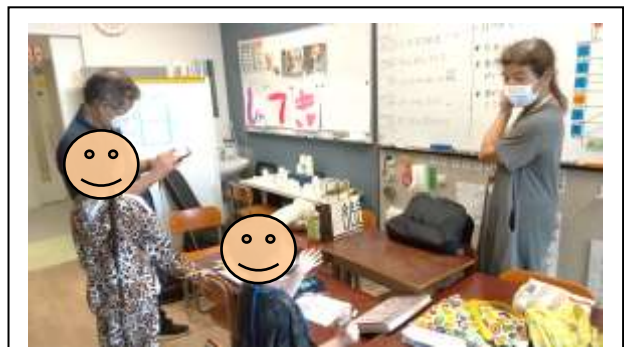
子どもたちが喜ばずの夏休みですが、入院中の子どもたちにとっては違います。退屈な日々が長く続くことになるので、困るのだそうです。病棟からのご要望もあり、マリアンナ学級では週に2回のサマースクールを実施しています。

院内学級小学校の本校である稗原小学校からは、校長先生他5人の先生方が手伝いに来てくれました。中には複数回、きてくださった先生もいて大変助かりました。病棟の保育士さんは、参加者の病状や医師の許可や希望の確認、当日の登校・下校指導、参加中の付き添いなどを協力してくださいました。

また、今年は外部から講師をお招きし、様々な活動を病棟の子ども達が楽しむことができました。夏休みは入退院が多く、当日まで参加者の確定ができません。それでも、講師の方々はプレイルーム（真ん中広場）、教室、オンライン、集団と個人の2部制など、臨機応変に形態を変えて楽しい活動を実施してくださいました。

< サマースクール 2024 >

- 7月23日（火） 音楽療法①
- 7月26日（金）
- 7月30日（火）交通安全教室
- 8月2日（金）音楽療法②
- 8月6日（火）夏祭りの準備
- 8月9日（金）バンブリーナおじさんの
手作り楽器コンサート
- 8月20日（火）音楽療法③
- 8月23日（金）切り紙名人になろう



コンサート後に感想を引き出す稗原小教諭



楽器を子どもたちに差し出す稗原小教諭



帰りの会に参加する 稗原小教諭



カリンバの演奏指導をする 稗原小教諭

「音楽療法」7月23日、8月2日、20日

菟宿小学校校長 小久保裕之先生

中野島小学校教諭 日本音楽療法学会認定音楽療法士 小久保礼以子先生

「ひろさんとれいさん」の黄金コンビが作り出す、楽しい音楽療法の時間です。事前に参加者の年齢や一人一人の好きな曲を聞き、プログラムを用意していただきました。

仰向け固定で動けない子は、リクエストした曲をこれまで聞いたことのないような大きな声で歌い、クリーン管理の子はベッド上でこぶしをつき上げて歌い踊りました。小さな声で歌っていた子は、終了後もずっと歌っていました。中学生も、楽器の演奏で参加し、朗らかな笑顔でした。

「もう、終わり？」と泣きそうになった幼児に、「またくるからそれまでに好きな曲を教えてね。」と言うと、目を輝かせていました。

お二人の作り出す時間は、お二人の温かさに包まれる幸せな時間でした。猛暑の中、3回にわたり珍しい楽器の紹介、演奏などをしてくださり、本当にありがとうございました。



ギターのひろさん ピアノなどのれいさん



通学児の 小学校の教室へ



幼児、小・中学生が集まったプレイルーム



ご持参くださった ベル



生徒の中学校の教室へ

交通安全教室

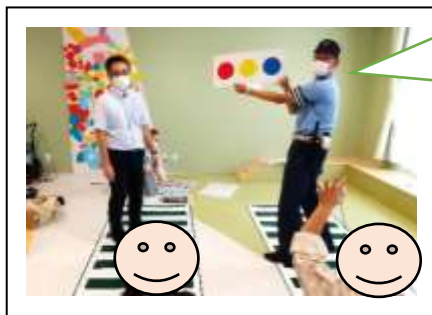
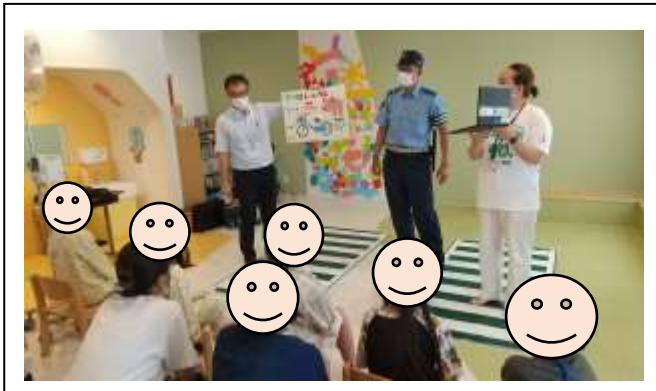
川崎市宮前区役所危機管理担当

地域安全担当係長 岡島 豊様 森山 麻衣子様

宮前警察署交通課 中平 巡査部長

稗原小学校の交通安全教室のときです。院内学級の子どもたちがオンライン参加していたところ、「それは、どこにいる誰に見せているのですか。」と、聞いてくださったのが中平巡査部長でした。「宮前区内なら管轄なので行けますよ。」とおっしゃるので、思わず「ほんの数名のために？」と聞き返すと、「もちろんです。」区役所の岡島さんまで「行きましょう。」と。第1回マリアンナ小児病棟交通安全教室が決定しました。

当日は病棟内の幼児さんから中学生まで参加しました。道路の歩き方の説明を聞いた後、信号の有る場合とない場合の歩道の渡り方を演習しました。中学生からの疑問に答え、自転車の点検の仕方や、乗り方についても説明していただきました。最後には、全員にベストや帽子を着用させていただきました。参加者全員にお土産までいただきました。外部とのつながりが減る子どもたちにとって道路の歩き方をイメージすることは、「治療を頑張り退院して、道路を安全に渡ろう。」という、希望になっているようにも感じました。



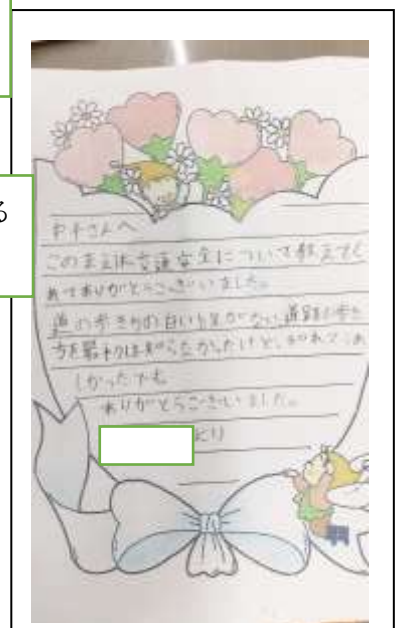
赤と青、どっちが右だったっけ？
思い出せるかな。
大人も一緒に考えてみましょう。



お土産の反射板を身に付けて安全に歩行してね。(一人一人に手渡していただきました。)

将来の夢は
警察官です。

待っている
よ！



バンブリーナおじさんの手作り楽器コンサート

東菅小学校 非常勤講師 日本パペットセラピー学会理事 パペットセラピスト 岡信行先生

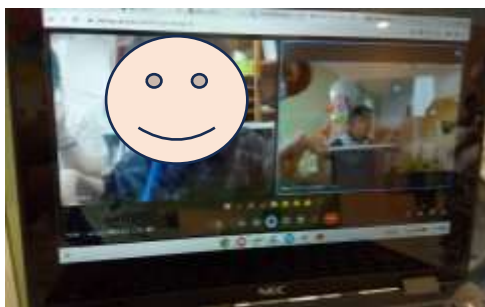
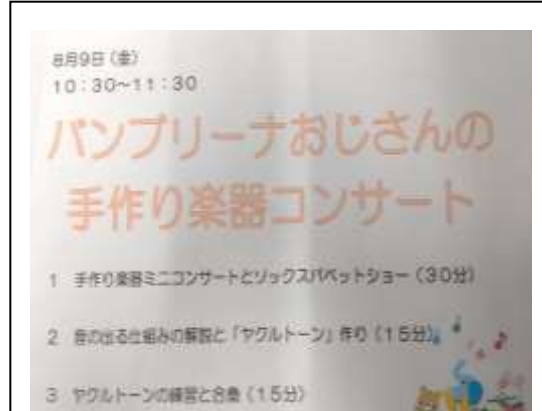
タウンニュースにも掲載され、全国的にご活躍の岡信行先生の登場です。竹製のオカリナ「バンブリーナ」を生み出し、作り方を教えたり演奏会をしたりしてバンブリーナの魅力を国内外に広げていらっしゃいます。また、靴下を使った人形「ソックスパペット」でパペットの教育的・心理的効果の実践研究を積んでいらっしゃる先生でもあり、川崎市小学校教員の研修などで岡先生からソックスパペットを教わり、クラスでパペット劇をしたことのある方も多いでしょう。

実は、マリアンナの小児科病棟イベントに呼ばれてきてくださったことがあったそうで、今回は院内学級としてぜひにと、お願いしました。身近な物で作られた様々な手作り楽器をご持参いただき、「相棒のポチ」（ソックスパペット）との軽快なトークを織り交ぜながらのコンサートでした。「そんな物でも音が出るの!？」という驚きの連続で、音色を聞くと歓声が湧きました。空き容器で作られた笛を全員にプレゼントし、作り方や吹き方を伝授されました。

身の回りの音に耳を傾ける気持ち、廃材を見て「もしかした变身させられるかも」という発想力、「相棒」との掛け合いによる言語化などなど、様々な面で子ども達の発達にとってよい影響があると感じました。



プレイルームに集まった 幼児、児童、生徒、本校職員



通学児童は教室からオンライン参加

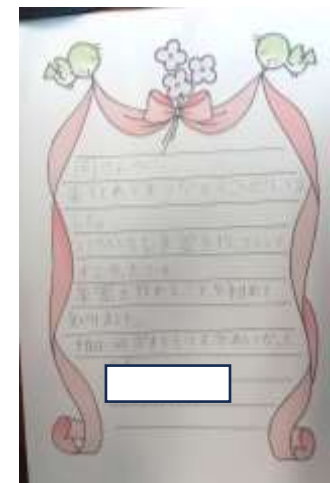
身近な物がいろいろな楽器に变身するよ。



ソックスパペット



もらった手作り楽器で演奏会



紙切り名人になろう

大藪 一樹さん

一枚の紙とハサミを手にしたら、手元も見ずに歓談しながらチョキチョキ。何ができるのか、わくわくしながら見ていると、今度は山折り谷折り・・・。あっという間にリアルな昆虫や生き物などの立体作品が出来上がりました。大藪一樹さんは、学校やわくわくプラザや子ども文化センターなどで、多くの子ども達に切り紙を教えて喜ばれている切り紙名人で、何度もタウンニュースに掲載されている有名人です。

実は一樹さんは本院の患者様でもあり、月に1度の通院時に院内学級に顔を出しては、新作をお土産に持ってきてくださいます。紙を切っている様子を撮影することも快諾してくださり、動画を見ながら院内学級の子ども達は切り紙を楽しみました。子ども達の様子を見て一樹さんも新作への意欲を高めて、またご持参くださるといのように、子どもたちと動画での交流をしたこともありました。

今回は、サマースクールの講師を引き受けてくださり、事前にたくさんの動物や昆虫の見本と型紙を用意してくださっていました。残念ながら、当日は体調不良のためにご欠席となりましたが、事前にいただいていた見本を子ども達に見せると「すごい!」「作れるの?」と目を輝かせていました。挑戦すると苦戦するものの、できあがりに満足して「5個作りたい」「全部、作ろうかな。」と次々と作りました。次回は名人から直々のご指導を期待しております。

※一樹さんから、「動画を SNS にアップしてください。」「本も作りたいんです。」などと、意欲的なご依頼を賜りましたが、残念ながら私にその能力がないために実現しておりません。

